

小規模企業景気動向調査

[平成28年12月期調査]

～3ヶ月連続して全項目で改善するも、人手不足や原材料の高騰で不安を抱える小規模企業景況～

2017年1月24日
全国商工会連合会

<調査概要>

調査対象：全国約300商工会の経営指導員

調査時点：2016年12月末

調査方法：対象商工会経営指導員による調査票への選択記入式

<産業全体> ◇…3ヶ月連続で全項目で改善するも、人手不足や原材料の高騰で不安を抱える小規模企業景況…◇

12月期の小規模企業景気動向調査は、産業全体の業況DI(景気動向指数・前年同月比)は小幅に改善した。項目別においては、売上額DIが大幅改善、採算DI、資金繰りDIが小幅に改善し、3ヶ月連続して全項目で改善を示した。また、過去2ヶ月と比べて改善幅も拡大した。受注増や歳暮、クリスマス需要により売上を伸ばしている業種もある。しかしながら、慢性的に続く人手不足や原材料の高騰で先行きに不安を抱えている。

<製造業> ◇…農水産加工業を中心に引き合いが増えるも、先行き不安感が残る製造業…◇

製造業の業況DIは、小幅ながらも先月に続いて改善となった。特に売上額DIは2ヶ月連続大幅改善となったが、採算DIと資金繰りDIの改善幅は小幅に留まった。経営指導員からは、歳暮や年末年始需要増から農水産食料品製造業を中心に引き合いが多くなっている。一方で、小規模企業でも、本来であれば円安になると、輸出増や海外移転した企業・工場が国内回帰するなどして恩恵を受けるところであるが、原材料高、人手不足、受注件数の減少など不安感を募らせる事業所も多いとの報告があった。

<建設業> ◇…全国的に公共工事が好調で3ヶ月連続の改善となるも、人材確保等に難が見える建設業…◇

建設業の業況DIは、小幅ではあるが3ヶ月連続で改善となった。項目別に見ると、売上額DI、採算DIはいずれも小幅に改善、資金繰りDIは大幅改善となった。好転材料としては、全国的に規模の大小はあるが、公共工事の発注数が増えてきている。特に熊本県や鳥取県については、震災復興関係の工事が多数発生しており、地域を超えて仕事を受注している動きもある。悪化材料としては、豪雪地帯では、例年、土木工事の受注量の落ち込みを除雪関連作業で補てんする動きがあるが、今年は降雪量が少なく、売上は減少傾向にあることや、仕事を受注しようにも人手不足で対応できないとの報告があった。

<小売業> ◇…菓子や飲食品を中心に需要が見られるものの、衣料品は厳しい小売業…◇

小売業の業況DIは、3ヶ月連続して小幅な改善となった。売上額DI及び資金繰りDIは小幅な改善、採算DIは大幅な改善となった。菓子小売業を中心に、クリスマスや歳末需要に関連した小売業では売上を伸ばしているとの報告がある一方で、先月、冬物への需要が見られた衣料品は、暖冬のため出足が鈍く、また、買替サイクルの長期化により売上減少に拍車がかかっている。

<サービス業> ◇…先月から一転大幅な改善が見られるも、厳しい環境が続くサービス業…◇

サービス業の業況DIは、先月から一転大幅な改善となった。項目別に見ると、売上額DI、採算DI、資金繰りDIすべてが大幅改善となった。経営指導員から、旅館、ホテル等の宿泊業では、旅行シーズンに入り売上が伸びている一方で、暖冬のためスキー・スノーボー客の取り込みには苦戦しているとの報告があった。また、理美容業では顧客の高齢化や利用者ニーズの変化等に加え、新規創業が多く地域内での顧客確保に苦慮しているとの報告もあった。

業種	産業全体			製造業			建設業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 16.5	▲ 12.1	4.4	▲ 11.3	▲ 5.5	5.8	▲ 4.6	▲ 2.5	2.1
採算	▲ 20.0	▲ 15.0	5.0	▲ 17.2	▲ 12.4	4.8	▲ 14.0	▲ 10.8	3.2
資金繰り	▲ 16.0	▲ 11.7	4.3	▲ 13.8	▲ 11.0	2.8	▲ 12.3	▲ 7.2	5.1
業況	▲ 21.9	▲ 17.5	4.4	▲ 17.1	▲ 13.5	3.6	▲ 15.3	▲ 10.8	4.5

業種	小売業			サービス業		
	11月	12月	前月比	11月	12月	前月比
売上額	▲ 28.6	▲ 25.6	3.0	▲ 21.8	▲ 15.0	6.8
採算	▲ 29.2	▲ 23.3	5.9	▲ 19.4	▲ 13.6	5.8
資金繰り	▲ 22.5	▲ 19.1	3.4	▲ 15.4	▲ 9.3	6.1
業況	▲ 31.4	▲ 26.7	4.7	▲ 24.0	▲ 18.8	5.2

注) DI(景気動向指数)は各調査項目について、増加(好転)企業割合から減少(悪化)企業割合を差し引いた値を示す。

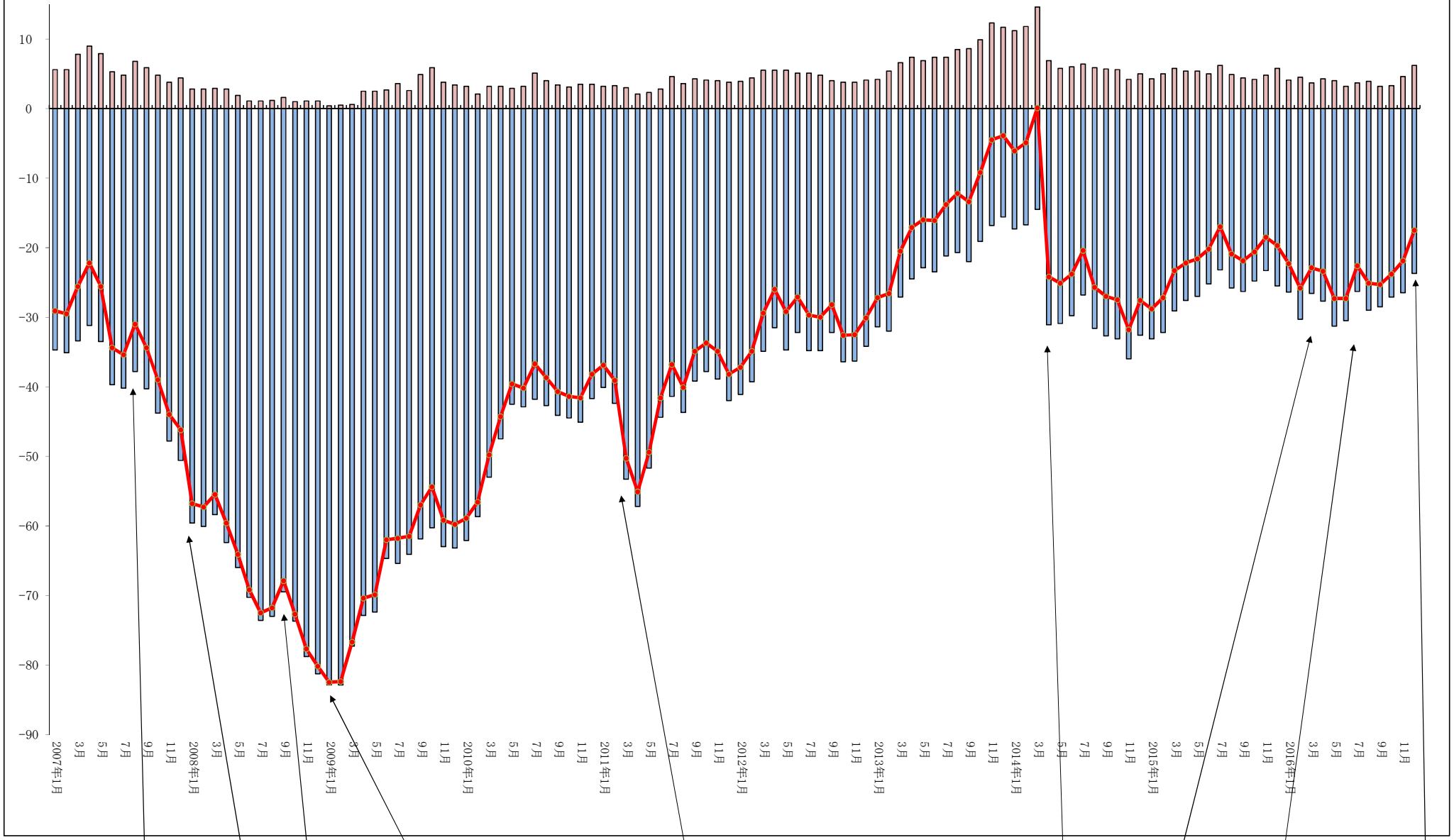
全国商工会連合会 企業環境整備課

〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル北館19F TEL:03-6268-0085 FAX:03-6268-0997 担当:堀内

小規模企業景気動向調査(月次)

産業全体の業況…過去10年のトレンド…

■悪化
■好転
●DI



07年8月9日
BNPパリバ、傘下の3ファ
ンドの償還を一時凍結

08年1月2日
NY原油先物初
の100ドル突破

08年09月15日
リーマン破産
法適用申請

09年1月
調査開始以来最低数値
(-82.5)記録

11年3月
東日本大震災

14年4月
消費税率8%に引
上げ

16年2月16日
日銀マイナス
金利導入

16年6月23日
英国のEU離脱に
関する国民投票

16年/12月
-17.5

小規模企業景気動向調査(12月期)における商工会経営指導員の主なコメント

* コメントについては、経営指導員回答の原文を掲載。

1. 景気全般

<改善傾向を示すコメント>

・本部町を訪れる観光客は増加している。宿泊事業者は好調である。建設業の発注増加等により、建設業者の動きが活発である。

(沖縄県本部町商工会)

・景気は上向きのように思われる。経営者の顔を見ていても綻んでいる。

(三重県小俣町商工会)

・年末の買い物や旅行客の増加により小売業や宿泊業を中心に売上が伸びた。特に宿泊業は九州ふっこう割や九重町が独自に発行した旅行券の利用が増えた。

(大分県九重町商工会)

・平成28年の沖縄県内は台風直撃が比較的少なく観光宿泊業が好調であった。しかし県内の飲食、観光、建設業界の人材不足は重大な課題となった年度であった。

(沖縄県南風原町商工会)

・小規模事業者持続化補助金に取り組んでいる事業所では明確な事業計画に基づき取り組んでおられます。自社の事業を改めて見直し売上アップに繋がっています。

(兵庫県上郡町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・全般的に景気の改善は見られない。特に今年は暖冬ということもあり、本来売上増につながる業種が売上の減少となっている。また、その他の季節に関係のない業種も景気の向上は見られず、以前低空飛行が続いている。金融機関の貸出姿勢は依然積極的ではあるが、借り入れる企業が少ないのが現状。

(福岡県鞍手町商工会)

・金融機関の貸出態度については年末資金需要に合わせて営業活動等を行っているが借入に対する忌避感強く設備投資等の案件も少ない。市内全体として消費者の買い控え傾向や貯蓄傾向が見受けられ売り上げの減少の要因となっている。

(宮城県本吉唐桑商工会)

・景気動向は、横ばい傾向で先行きが見通せない状況が続いている。青果物や魚などは、天候不順で価格は高止まりとなった。年末は、イベント事が多く、売上の増加を期待したが、通常月より微増に留まり、個人消費の動きは鈍い。人手不足も解消されていない。ほぼ変わらない状況。金融機関の貸出については、企業間での金利の格差が見

(香川県さぬき市商工会)

・新幹線や県庁舎などによる建設や内装、電気設備など人手不足が続く一方小規模小売業(食料、衣料、耐久消費財)は野菜の高騰や大型店との差別化ができないなど引き続き消費の低迷が続く。

(長崎県三重商工会)

・今冬の暖かさのため、季節商品の売り上げが低迷している。公共事業の減少等もあり、全体的な景況は低調である。

(富山県射水市商工会)

2. 製造業

<改善傾向を示すコメント>

・自動車関連の製造業は、売れ行き好調な車種もあるようなので上向き傾向と捉えられる。

(栃木県上三川町商工会)

・年末にかけて金属加工業者については部品修理等で忙しい状況が続いている。

(愛媛県双海中山商工会)

・スマートフォン向けの部品加工業が今年後半から非常に好況だということで、平日は残業・休日出勤もしてこなしているということであった。

(東京都羽村市商工会)

・業種全般としては機械更新などの設備投資を行っている所もあり、先行き不透明感はあるものの持ち直しの動きがみられる。

(秋田県由利本荘市商工会)

・食料品製造業は農水産品加工を中心として全般的に引き合いも多くなっており、ゆるやかではあるが景況は良くなっている。一方では、人員確保難が深刻で製造に支障をきたしている事業者も発生している。

(島根県石中央商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・円安傾向にあり、本来であれば受注が増えてもよい環境であるにもかかわらず、小規模な製造業は受注が少なく頭を抱えている。設備投資も進んでおらず、本地域においては現状最も厳しい業況と言える。

(福岡県鞍手町商工会)

・織機関連の製造業では中国・インドの景気低迷により売上が大幅に減少している。

(石川県野々市市商工会)

・食料品製造業では、魚介類の水揚げが少ない影響を受け仕入れ単価が高騰しており、業況は悪化している。繊維工業では、一時的にトランプ効果は期待できても、先の見えない状況はこれからも継続するとみられ、景気に左右されないモノづくり体質や技術に裏打ちされた他社には真似できない商品開発が急がれる。機械・金属においては、市場の先細りや受注件数の減少など、不安感を募らせる事業所が多い。

(富山県射水市商工会)

・食料品関連の製造業は、大きな変動はない。原材料単価が若干値上がり傾向にある。繊維工業関連の製造業は、暖冬による冬物の追加注文等が少ない。関東圏を中心に、小口注文が活発となっており、売上高は増加。機械・金属関連の製造業は、震災の影響も過ぎ横ばい状態である。

(鳥取県中部商工会産業支援センター)

3. 建設業

<改善傾向を示すコメント>

・土木関連の公共工事は予算の削減のために減少しているが、震災復興関係の事業の拡大のため、益城、熊本市、阿蘇方面の仕事で売り上げは上がっている

(熊本県天草市商工会)

・大工関連の建設業は、増築・改築等の注文が続いており、順調に売上を維持している。

(愛媛県西予市商工会)

・建設業(特に土木工事)関連は、公共工事の発注が行われているため極端な伸びはないが、堅調に推移してる状況になっている。

(青森県南部町商工会)

・公共工事関連の建設業については、依然として横ばい状態にあるが、民間工事については、若干の回復が見られ

(愛媛県長浜町商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・人手不足・職人不足が引き続き顕著である。そのため、残業が多くなっており、人件費が高騰している。

(岐阜県笠原町商工会)

・公共工事の案件が年末ということもあり増加しているが、下請けや警備員等の確保が難しく、人手が足りない状況である。

(東京都羽村市商工会)

・建設業は除雪が始まったがまだ雪が少ないため出勤が少ない。

(福島県会津美里町商工会)

・年末に向けて公共事業が増加するも、人手不足の影響により、外注頼みの状況であり、利益率は改善されておらず、人員確保が喫緊の課題となっている。

(滋賀県瀬田商工会)

・土木工事関連の建設業は、公共工事の減少の影響が大きく、元受工事確保が困難な事業者も多く発生しており、下請工事の受注で工事確保をしている事業者も多くなっているが、元受(地区内でも比較的規模の大きい事業者)と下請(地区内でも比較的規模の小さい事業者)との間で収益状況に格差が生じている。人員確保に窮している事業者も多く発生している。

(島根県石見商工会)

4. 小売業

<改善傾向を示すコメント>

・小売業は、プレミアム付き商品券の効果もありお金が動いている。

(福島県保原町商工会)

・乗用車、軽乗用車とも、ボーナス時期ということもあり売上が増加、前年を上回る状況である。コンビニ・ドラッグストアは好調であるが、地元の小売店は苦戦している。

(滋賀県甲良町商工会)

・洋菓子関連の小売業は年末クリスマス時期を迎え、若干の業績回復に繋がっている事業所も見受けられる。

(岡山県瀬戸内市商工会)

・お歳暮やクリスマスなどのイベントなどで、賑わいがあったので、消費の動きは底堅く推移し、気温の低下もあり冬物商品が好調だった。しかし、高額商品の動きは鈍かった。

(香川県さぬき市商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・圧倒的に「売上減少」との認識が強い。来期前半の見通しも悲観的。店舗老朽化を課題としてあげる事業者が多いものの、業況から設備投資まで踏み切れない。人件費上昇に対する不安もあり。

(埼玉県吉見町商工会)

・小売業は全般的に売上が低迷している。衣料品、食料品、耐久消費財ともに、ものが売れないという声がよく聞か

(愛媛県西予市商工会)

・衣料品は暖冬のため、冬物衣料の動きが鈍い。食料品は野菜を中心に仕入価格が高騰し、やや悪化傾向にある。耐久消費財は近隣の大型店の影響を受け、やや悪化傾向にある。

(鹿児島県かごしま市商工会)

・衣料品関連の小売業は、全体にやや悪化傾向にあり、昨年と比較し、お客様の購買意欲が低下していると感じられる。

食料品関連の小売業は、野菜、魚の仕入単価が上昇し、正月用品の仕入に際し、厳しい状況となった。売上も地域の人口減少により減少傾向にある。耐久消費財(自動車)関連の小売業は、昨年同時期と比べ大きく変化はな

(岡山県作州津山商工会)

・衣料品小売: 店舗前の人通りはまばらで、ポイント5倍の大売出しも年々振るわなくなってきた。最近の衣類は丈夫で長持ちするが、買い替えサイクルが長くなるため売上減少の一員でもある。低価格商品の仕入れはダース単位でなければ単価が高くなるため、常に売れ残りのリスクと天秤にかけながら行わなければならない非常にシビア。物が売れない時代に在庫が残ることが経営を圧迫している。
食料品小売: 大規模店の増加で売上が上がる見込みが持てない。
耐久消費財: 新車の発表で問い合わせはあるが、売れ行きは例年通り。

(山口県岩国西商工会)

5. サービス業

<改善傾向を示すコメント>

・温泉旅館や関連の施設は、年末年始堅調に推移すると予想される。他の観光地と比べても、より良好な状態。女子旅のブームもあり、上向き傾向である。

(石川県山中商工会)

・旅館関連のサービス業は、地元の建設工事従事者や旅行者が多く利用するため、前年以上の売上を維持している。

(愛媛県西予市商工会)

・クリーニング関連のサービス業は、特に変化は見られないが、公共的施設からの受注により一時的に売上が増加した面が見られた。

(青森県大畑町商工会)

・花輪ばやしのユネスコ無形遺産登録などにより、懇親会の開催機会の増加、飲食店関係は売上微増傾向である。仕入れ単価は上昇しており、採算としては横ばい。

(秋田県かづの商工会)

<悪化傾向を示すコメント>

・理容関係は顧客の高齢化による影響で売上は年々減少傾向にある。また、近隣に1,000円カットの店が増えてきている影響も大きい。

(栃木県黒羽商工会)

・宿泊関連のサービス業は、インバウンドの増加によりチャンスではあるが、小規模な施設が多いため、キャパシティの問題から、大きな売り上げ増加は見込めない。

(長野県南木曾商工会)

・スキー客向けの宿泊業は、上旬にまとまった降雪があったものの、その後比較的温暖な日が多く積雪量が減ってしまいスキー客が減少したため、23日からの3連休を中心にキャンセルが相次ぎ経済状況はやや悪化している。その後27日夜からまとまった降雪があったため、年末年始は回復すると見込まれる。

(新潟県妙高高原商工会)

・運送業は、年末は配送需要が多く、多忙で売上が増加したが、運転手不足と燃料費の上昇が利益を圧迫している。

(香川県さぬき市商工会)